



第1回
9月29日(木)
家畜の飼料から
見えてくること
堀口 健一

第2回
10月6日(木)
果樹の品種改良における
ゲノム編集の活用について
渋谷 知暉

第3回
10月13日(木)
地域定住農業者
育成事業の今
小沢 互

第4回
10月20日(木)
食の進化!
世界の最先端トレンド
五領田 小百合

第5回
10月27日(木)
庄内海岸林の今昔
柳原 敦

令和4年度山形大学農学部公開講座

農学のタベ

2022.9.29~10.27

毎週木曜日(全5回) 18:30~19:30

山形大学農学部3号館3階301講義室
先着70名(高校生・一般) / 参加無料

8/10(水)~9/15(木)の期間中にお電話でお申込みください。

※8/11~8/16は本学一斉休業となります。

山形大学農学部総務課研究・社会共創室

TEL: 0235-28-2910

※定員になり次第、受付終了となりますのでご了承ください。

※予定が変更になる場合がありますので、その都度本学部HPでご確認ください。

※当講座の様子については、写真撮影の上、各種広報誌やWeb上等に掲載することがありますので予めご了承ください。顔写真の撮影等につき特段のご要望がある場合は、担当職員にお申し出ください。

《講義概要》

開講日	講義テーマ	講義概要	担当
第1回 9月29日 (木)	家畜の飼料から見えてくること	家畜には様々な飼料が利用されていますが、飼料として最初に思い浮かんだものは何ですか？ 皆さんの身近なものも飼料として利用されていますので、本講義では、家畜の飼料から見えてくることを概説しながら、国内の畜産について皆さんと考えていきたいと思います。	教授 堀口 健一
第2回 10月6日 (木)	果樹の品種改良におけるゲノム編集の活用について	2020年にノーベル化学賞を受賞したCRISPR/Cas9は、非常に簡単に扱えるゲノム編集技術として様々な分野での活用が期待されています。ゲノム編集は、品種改良を行う上で非常に有益な技術であり、品種改良に時間と手間のかかる果樹のような作物では特に重要と言えます。今回はゲノム編集技術やその果樹における活用について紹介します。	准教授 渋谷 知暉
第3回 10月13日 (木)	地域定住農業者育成事業の今	農業生産の担い手確保と能力向上が喫緊の課題です。産官学金で2018年に開始した事業は7年目となり、主要な取り組みである食と農のビジネス塾修了生は100名を超え、メーリングリストメンバーも200名を超えています。これまでを振り返り、この事業の今を紹介します。	教授 小沢 亙
第4回 10月20日 (木)	食の進化！世界の最先端トレンド	昨今、食×サイエンス・テクノロジー領域の融合による食の進化が目覚ましい状況にあります。 本講義では、食の進化について、国内外の動向を紹介します。 世界の大きなトレンドや事例を知り、各々の「次の一歩」につなげていただけましたら幸いです。	助教 五領田 小百合
第5回 10月27日 (木)	庄内海岸林の今昔	この地に赴任し、36年余りたち、学生時代を含めるとほぼ40年になりました。この間、庄内海岸林を歩き回り調査を行ってきました。この間の変化を、短時間ですがご報告したいと思います。	准教授 柳原 敦

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について ～当講座にご参加の皆様へお願いとご注意～

- 今後の新型コロナウイルス感染状況により、講座内容や日程等の変更または中止する場合があります。必ず当学部ホームページをご確認ください。
- ご来場の際は、マスクの着用、入口での手指消毒・検温にご協力願います。
- 受講申込み時に教えていただく氏名、住所、電話番号等の個人情報について、関係機関に提供する場合があります。
- 次のいずれかに該当する方は、ご来場をお控えください。
 - ①体調がよくない（平熱を超える発熱、咳・のどの痛み等風邪症状、だるさ、息苦しさなど）
 - ②嗅覚や味覚の異常
 - ③新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触。
 - ④同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる。
 - ⑤講座前14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。